



音楽運動



日本音楽協会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp

2024解散総選挙 自公政権過半数割れ

10月27日に投開票された衆議院選挙において、自公政権は大敗となりました。

日音協は政治団体ではありませんので、コメントは差し控えますが、各党の得票状況を掲載しておきます。

いずれにしても、政治・政局は私たちの暮らしにかかわることであり、関心を持って関わっていききたいと思います。

来年の7月には参議院選挙もあり、その後10月に『第56回はたらくものの音楽祭(長野音楽祭)』を開催します。

取り組みを強めましょう。

(佐藤)

【党派別当選者】

	公示前	当選者
・自民党	256 ⇒	191
・公明党	32 ⇒	24
・立憲民主党	98 ⇒	148
・日本維新の会	43 ⇒	38
・国民民主党	7 ⇒	28
・れいわ新選組	3 ⇒	9
・共産党	10 ⇒	8
・参政党	1 ⇒	3
・保守党	0 ⇒	3
・社会民主党	1 ⇒	1
・与党系無所属	7 ⇒	6
・野党系無所属	7 ⇒	6
■与党	295 ⇒	218
□野党	170 ⇒	244

今後の予定

- 11月16日(土)
岩手県支部コンサート(大野キャンパス)
- 11月23(土)~24日(火)
日音協ソング選考委員会(東京都内)
- 11月30日(土)
東京都支部コンサート(滝野川会館)



戸倉創造館(外観)



最大390名収容の大ホール
近くには温泉宿もあり、全国
交流会も想定しています

第56回長野音楽祭会場決定 10月18日~19日 長野県千曲市・戸倉創造館

第13回幹事会報告

10月14日、日音協は第13回幹事会を開催しました。

この間、月1回ZOOMで開催してきましたが、総会前でもあり、対面での開催としました。(会場は、日音協事務室)

会長あいさつ、経過報告、各支部の状況共有、のあと3点について協議しました。

- (1) 第55回はたらくものの音楽祭の総括
- (2) 第56回はたらくものの音楽祭について
- (3) 日音協ソング2024について

協議の結果、

(1)については、施設・準備・出演団体、プログラムの流れ、PA、照明、全国交流会、財政などについて意見が出されました。特にステージスタッフの皆さんからは事前に意見提案などが出され、さらに検討していきます。

(2)については、1年前の10/17に会場予約に行くと確認しました。結果、上記の戸倉創造館(長野県千曲市戸倉2305-1)が取れましたので、今後具体的に進めていきます。11/3には長野において(仮称?)「長野の夢を語る会」が開催され、音楽祭テーマなどが話し合われるとか!?

(3)については、応募曲は15曲に変更。選考委員長は松本、事務局長は細川、で分担。11/23~24、東京都内において、選考委員会を開催することとしました。

(佐藤)

支部・サークル発表

多種多様な発表 大いに楽しみました

会場で聴いていた人しか通じないかもしれませんが、簡単な感想のコメントを掲載します。ご容赦願います。
(松本敏之)



唯一無二 with ローカル線



ブービーバンド



ういみん



Periodista



Kako ♥ Mika



パールライス



Rico & Tatsu

【唯一無二 with ローカル線】
長岡でスポットライトとして初登場の唯一無二ゆが那覇ではトップバッター。塚本茂子さんの独特の世界を「メソポミア」で味わいました。
【ブービーバンド】
いつも変わらぬ楽しいステージ。強制ではないと言いつつ医療機関を受診するたびに嫌な思いのマイナスイオン。松本は儲け話は一人でこっそりやりやります。松本を語る儲け話はサギの証拠。
【ういみん】
落ち着いた女声コーラスで「さとうきび畑」。あの日海の向こうからやってきた戦(いくさ)で失った父の顔も知らない。ういみんみなさんの表情もとってもいい感じ。
【Periodista】
構成詩「されど灯し火は消えず」。警察の厳しい弾圧に耐え

てたたかい続ける若者たちの苦悩。そして日音協ソング2023推薦曲「されど灯し火は消えず」ポエトリリーディングと歌で。
【Kako ♥ Mika】
2人の個性が光る舞台衣装にまず目を奪われたが、演奏から伝わる大きな愛のメッセージは、会場全体を明るく包み込むように広がっていく感じがした。
【パールライス】
守ろう黄金色のこの大地豊かな明日を築くために、と「黄金色の風」。食料の生産者が安心して生産できないと社会がつぶれてしまふ、黄金色の風を吹かせよう。
【ローカル線】
そこには大きな川が流れていて堤防の歩道、海まで続く。朝目覚めて、カーテン開けて、あなたとあなたの親と僕とこの町で始める日常、「新しい散

歩道」。
大沢さんがいなくて寂しい。
【Rico & Tatsu】
あれができたなら、これができたらとハードルをあげたら、僕はおじいちゃんになっちゃうよと「ハードル」。「ぼくとオキナワ」は辺野古の座り込みとちゅうら海水族館とを対比させる。
【林音協】
新しい労働組合歌をめざした「我ら全国林野関連労働組合」と、労働者の団結を足下から「だからみんなと もっと みんなと」。木曜日に全国から集まって合宿、完成させました。
【日音協青森県支部】
夜空に広がる満点の星が浮かんでくるような「星のパレード」。静かでありながら印象的なメロディーとギターの調べ。甲屋文史さん一人の演奏ということだったがまるでギターデュオを聴いているよう。



林音協



青森県支部 (甲屋文史)

ほぼ予定通りの進行でした

【日音協福島県支部】
愛される愛すること何度も
疑い生きてきたけど、「でも
ひとりじゃない」。自分のめざ
してるそのものに価値はある、
と「ヨロコビの唄」。福島県支
部の今までにない一面。

【日音協岩手県支部】
岩手では佐伯義人さんの「大
きな橋」が地域のみなさんに受
け入れられているとのこと。も
しも一つだけ願いかなうなら
ば戦争捨ててこの世に愛と平
和を、と「ねがい」。

【日音協香川県支部】
俺のことは俺が決める、みん
なのことはみんなが決める、怒
り燃やすかうなづくか、と「自
分のこと」。高田さんが元気な
姿でベースを弾いているのが
うれしい。

(2面からつづく)



香川県支部



岩手県支部



福島県支部



茨城県支部



長野県支部



新潟県支部



東北ブロック合同

【日音協茨城県支部】
南の海からゆっくり目を転
ずるとさとうきび畑が広がっ
ていて、土埃の道を歩いて行く
とやがて、あの日に多くの人が
が逃げ込んだ、チビチリガマに
たどり着きます、「南の海」。

【日音協長野県支部】
鹿児島県の知覧特攻平和会館。
その中で婚約者に宛てた一通
のお手紙が特に心に残りまし
た。あなただけでなく逃げて奇
跡の命会いにきて、と「心文
知覧の空」。

【日音協新潟県支部】
第54回音楽祭のテーマソ
ングを大きくつくり変え、暗く辛
い時代引きずり基地とともに
暮らすあなたの怒り苦しみ、と
「届け 私たちの思い 歌にの
せて」再び戦場にせぬように
く。そして日音協ソング20
23推薦曲「長崎平和祈念像の
歌」。

参考にしてください

支部感想集とは別に書いていただ
いた個人向けのアンケートで、「印象
に残った曲は？」との設問に多くあ
げられた曲を順に記します。

<4票>

- ・星のパレード（日音協青森県支部）

<3票>

- ・メソポタミア
（唯一無二ゆ with ローカル線）
- ・心文～知覧の空～
（日音協長野県支部）
- ・マイナンバークッパ
（日音協九州支部）
- ・コロナワクチン被害者
（日音協九州支部）

<2票>

- ・童神（オープニング）
- ・島人ぬ宝（オープニング）
- ・さとうきび畑（ういみん）
- ・届け、私たちの思い、歌にのせて
（日音協新潟県支部）
- ・座りこめこへ
（山城博治さんと歌う）

アンケート結果

【日音協東北ブロック合同】
祖国復帰闘争の時代のうた
「芭蕉布」。片手にスマホを、
みんなの笑顔を、パレード写し
て、いいねつけてね、と「街に
出て歌おう」。遠く人数は寂し
いけれど追いかけて楽しい。

同じく「印象に残った演奏団体
は？」との設問に多くあげられた
団体を順に記します。

<5票>

- ・山城博治さんと歌う

<4票>

- ・ブービーバンド

<3票>

- ・前花雄介
- ・メーデー合唱団
- ・日音協東北ブロック合同

<2票>

- ・日音協新潟県支部
- ・日音協沖縄県支部（沖音協）

2日目の始まりです

(3面からつづく)



コロニーにいがた



よしもと けんじ



東京都支部

【日音協九州支部】ワクチン接種による死亡や体調不良が強く疑われる人がたくさんいるのに放置されている「コロナワクチン被害者」。そしてプ

【日音協東京都支部】うたはどこで覚えた、半分眠りながら覚えた、涙流して覚えた、そしてたまたまを知って覚えた、佐藤信、林光の名曲「うた」、迫力じゅうぶんの19人の大合唱が心に響きました。

【コロニーにいがた】コロニー新潟で県職員生活を始めた高林克比古さんが山本さんとふたりで「Wish」。そして青年部の応援歌、会場と一緒に「青年よ、灯をともし」とコールアンドレスポンス。

【よしもとけんじ】命はひとつ人生は1回、青くなつて戻込みなさい、と加川良さんの「教訓I」。そしてよしもとけんじさんのオリジナルの「JICA勇気の道」をギター弾き語りで味わい深く力強く。

【日音協秋田県支部】日音協ソング2023推薦曲、後藤さんの「戦争の誘惑に乗って

【合唱団ミール】瓦井さんの作になる「戦争はダメだ」。歌って下さい心の叫びを今が大事な時だから、と杉崎さんの詩で「歌って下さい」。そして「オスプレイは出ていけ！」と練習を積んだ確かなうたで。

【自治労音楽協議会】金曜日に全国から集まり、時間の制約の中で練習。定年の先輩に、お疲れさまでした今までありがとう、と「ありがとうの花束」。故郷の山は変わり果てなん、と「ミライの海」。

【日本私鉄労働組合総連合会】沖縄県私鉄の仲間11人を含めて20人の大合唱。輸送の使命に結ばれたひとりと、と「私鉄の仲間たち」。これと並び私鉄総連の愛唱歌「このきずなさらに強く」を力強く。

ライバシー侵害に抗議する「マイナンバークッバイ」。

2024日音協ソング応募曲

【全15曲の応募となりました】

- ・心文〜知覧の空〜 詩・曲＝塚本茂子
- ・半径三メートル 詩・曲＝塚本茂子
- ・JICA 勇気の道 詩・曲＝吉本健二
- ・No No War 詩・曲＝桑野功
- ・ゆるされぬこと 詩＝佐藤幸子&佐々木かな子
曲＝日音協東北ブロック
合宿実行委員会
- ・街に出て歌おう 詩＝下総大&佐藤康弘
曲＝東北ブロック合宿実行
委員会
- ・何もできない毎日が 詩＝佐藤康弘
曲＝後藤雅裕
- ・僕らの暮らしは辛抱だらけ 詩・曲＝後藤雅裕
- ・夕暮れ西の空 詩・曲＝山本英二
- ・青年よ 灯をともし 詩・曲＝高林克比古
- ・大好き 沖縄 詩＝下総大 曲＝後藤雅裕
- ・かえりみちー陽が生まれてー 詩・曲＝大門悟
- ・歌って下さい 詩＝杉崎哲夫 曲＝瓦井孔二
- ・基地はいらない 詩・曲＝瓦井孔二
- ・これ以上 海を 詩＝福島の人々の思いから
曲＝坂口美日

はいけない。そして、電気代値上げに怒ってる、怒り集めて政治を変えよう、と「僕らの暮らしは辛抱だらけ」。

【FMカンパニー】遠い北海道から11人が参加。いつの日か働くものが幸せになれると、きのために、笠木さんの「私にはうたう」。ウクライナに、ガザに平和をと、ロックサウン

【日音協沖縄県支部（沖縄）】沖縄の慰霊の日である6月23日に多く歌われる海勢頭さんの「月桃」。そして、出会えた奇跡を信じよう、と日音協ソング2011で入選に選ばれた宮城さんの「うたを歌おう」。

何回もステージに立ったグループ等は割愛させていただきました。



九州支部



私鉄総連



合唱団ミール



秋田県支部

写真のサイズが小さくてごめんなさい

今回の成果と課題を明らかにし、長野音楽祭へ引き継ごう

■ オープニング演奏

県実行委員会が担うオープニングは、テーマを表す歌として、『童神（わらびがみ）』は自然の恵みに感謝し我が子を優しく見守る歌、『島人ぬ宝』は大切なものを守り抜く心を歌う歌の2曲を選曲しました。メンバーの目標を20人以内に設定し、県実行委員会終了後に2回の練習と当日は1と大スタジオでの練習を行いました。練習では、明るく楽しく歌うことを心がけ、本番では、サンレレララバイのメンバーも加わり、人それぞれが大切にしているものを尊重しあう社会を目指し、一人ひとりが気持ちをおわせて明るく歌うことが出来ました。

歌とともに歩んできた沖縄らしさを表現し、曲の間にナレーションを入れることにより歌詞に深みが出て、さらに、沖縄独特の踊りと指笛、フェーシ（お囃子）もあり、開催県としてのオープニングセレモニーとしては、ふさわしい心に残る演出ができたと思います。

ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。いっぺーにふえーでーびる。

沖縄県実行委員会で総括されたもの（抜粋）です。12月7日の全国総会に向けて総括をすすめてみましょう。

■ 県内からの参加団体（スポーツ・ライト3団体、一般2団体、及びゲスト1団体）

実行委員会への参加も含め各音楽団体に呼び掛けました。スポーツ・ライトは、サンレレララバイさん、なおマリアさん、山城博治さんと辺野古の仲間たち、一般参加は、日音協沖縄県支部、よしもとけんじさん、ゲストは、前花雄介さんでした。音楽祭の多様な発表に貢献できました。プログラムの印刷が音楽祭の3日前に届きましたので、広告掲載をした団体及びご協力いただいている団体に事前配布を来ない、最後の呼びかけに活用しました。

■ 全国交流会

全国交流会は、なはーとから歩いていける距離にあり、参加者は100人前後と見込み、参加人数が増えても対応が出来る、沖縄県青年会館で行いました。料理があったという間になくなったハプニングがありました。各地域からのお土産もあり、臨機応変の対応で急場をしのぎました。全国からお酒とおつまみの差し入れもありました。沖縄の文化を感じてもらうために、那覇市職労組合員から琉舞（琉球舞踊）「かぎやで風」と民謡グループの出演があり、参加者からとても良かったとの感想がありました。

■ (各自の感想および意見)

【高里鈴代実行委員長】マスコミ

対策や労組へのあいさつ回りを行った。博治さんの歌が日音協の歌と知ってびっくりした。辺野古の仲間と調整しみんなで歌を歌い役目が出来た。55年の歴史を感じた。鼓舞する歌、各地域の歌があり、新しい歌もあった。

【Aさん】音楽を楽しんでいる思いを感じられてよかった。私たちはサークルなので出来栄は心配だったが、みんな暖かく見て下さり、楽しく演奏できた。

【Bさん】貴重な機会で緊張していました。歌で一つになる。みんなでも歌うのも素敵です。

【Cさん】沖縄の美しい自然と文化に包まれた会場で、素晴らしい演奏を間近で感じながら、司会として皆様と過ごした時間は大変光栄に思っています。会場全体が一体となって音楽を楽しむ姿が印象的でした。私自身も音楽の力を改めて感じる事ができました。

【Dさん】実行委員の皆様、参加者、関係者の皆様に、この貴重な機会をいただいたことに感謝しております。

【Eさん】貴重な体験をありがとうございました。オープニングの指笛も楽しくできた。表現活動は幅広いと感じた。もっと頑張りたい。

【Fさん】台風にヤキモキしましたが、無事全国の皆さんが沖縄入りができ、受け入れ

る沖縄スタッフも一安心して音楽祭をスタートすることができました。チムググル（優しい心）を世界に広めましょう。音楽は世界を変えれると信じて。

【舞台監督の坂口】沖縄県実行委員会の皆様、お疲れ様でした。そして、歌と共に闘い進んできた沖縄だからこそ、心に残る感動的なオープニングをありがとうございました。また、様々な担当を快く引き受けて頂き、円滑に進めて頂いたことに心より感謝申し上げます。舞台監督ということで忙しむりで、常にワサワサしておりましたが、沖縄県実行委員会のみなさまのおおらかさと笑顔にも、たくさん助けて頂いたと思っております。また、県実行委員会控え室の雰囲気がとても楽しげで、私もちい仲間入りしたくなっています。

(さっそく次の活動へ「まさし」も歌う)

虹夢ライブvol.6
～ツーマンライブ～



Naomaria



サマーキャンドルズ

10月26日(土)

OPEN13:30/START14:00
入場料1000円(要ID)



まさし



まさびー

～オープニングアクト～

@那覇アルテ崎山
沖縄県那覇市首里崎山町3-34

水道橋 だより

▼日音協関東ブロック合宿が 10月26～27日開催されました。(報告は12月号で) ▼12月7日に全国総会を開催します。今月号に活動方針(案)を掲載する予定でしたが、まだ煮詰めるところがあり、これも掲載は12月号となります。▼郵便料金が値上がりとなり、今後『音楽運動』の通信費財政がひっ迫していくかもしれません。郵送の読者の方は、メール配信への切り替えの検討をよろしくお願い致します。(佐藤)

▼5面、平良さんからメールあり。「なおマリアさんが、月一の定期ライブを行っているので、出演依頼があり。はじめて、一人芝居に挑戦しました。所要時間は6分です。来年の長野音楽祭で披露しようかな？」とのこと。活動は始まっています。(佐藤)

▼選考委員会が終わる 11月24日から歌集を配布開始する予定の12月7日の総会まで2週間もないことに気がきました。選考の準備作業を急ぎます。(細川)

歌の力が物語るもの135

葉萁坂つた行動 9/27 (521回) 報告 R i c o

【参加者】佐藤茂伸さん、鈴木さん、坂口さん、守屋さん、かおるさん、イサさん、松浦さん、達哉、森 計9名

雨はやんでいる予報だったのに、国会前は降っていた。自民党総裁選の話題ばかりで被災地も人々の生活も蚊帳の外の涙雨?

アコーデオンは持って行ったが、とり出す気にはなれない。守屋さんもギターはビニールでぐるぐる巻きた。今日はみんなでアカペラ。原子力規制庁に行く途中だという佐藤茂伸さんが立ち寄り、歌に加わった。

『あたりまえの地球』に続いて『水に流すな』。毎月24日に行っていた汚染水放出への抗議行動は、期間を一年と区切っていたため、先月で終わっているのだけれど、怒りがおさまったわけではない。声をあげ続けよう。『子どもらの明日のために』『あなたに届け』と歌い進む。元歌が讚美歌だけに、アカペラだとゴスペル歌っているみたい。でも歌詞は「原発やメロと歌う」など、穏やかではいられないもの。次は元氣よく『メッセーじ』! 伴奏楽器がなくてもみんなで歌うと力強い。そして秋には必ずうたいたいくなる

『双葉の秋』。「あの事故がなかったら…」と繰り返す歌詞が切なくなる。

歩道の端を行く女性がスマホを向けながら歩みをゆるめていた。興味を持ってもらえたならうれしい。

「自民党批判の歌をうたいたい」と、坂口さんが『かあさんの歌』をリクエストした。金曜行動が始まった初期のころの歌。「母さんは今宵もまた国会前で歌う…」と始まり、「自民の皆さん あなたたちにも母さんはいるでしょうこんなひどい日本にしたら母さんは叱るはず 原発止めて議員も辞めて 一から出直しなさい」と結ぶ。なんとも10年以上前の歌なのに、現在もまんま歌えるのが悲しいやら悔しいやら。

沖縄を歌う。『ふるさと沖縄』『ジューコンのすむ海』。音



音楽祭に先駆けて安和の行動に参加するつもりだったのに、台風で海が荒れ、工事は休止中。行動もなかった。海が工事を止めてくれていたんだ。『明日を殺すな』『私たちの暮らしは私たちが決める』『そんな世界が一番』『フクシマをくりかえすな』。歌詞は覚えていないのだが、楽器を抱えていないと時々飛ぶ。指が記憶中枢とつながっているのかな。雨はやまない。最後は『原子力発電NO!』でうた行動を終わりにした。

片づけていると若い警察官が寄ってきた。「僕、あなたたちを知っていますよ。何回も見たことある。歌、良いですよね」と、にこやか。松浦さんが、葉萁坂がわからなくて迷っていた時に道を教えてくれた警察官だという。「こんどお休みの日に一緒に歌いましょうよ。毎週金曜日に居ますから。」と誘って、「いいですね」と笑顔で応えてくれた。うたい続けていけば、誰かの気持ちには引かかっているのだと改めて感じたできごとだった。

どん行

(184)

飯島貞親

るものにする努力、これが政治の責任であることを政治家は自覚すべきだと思うのだが。

▼10月27日に投票のあった衆院選は与党のボロ負けに終わった。「政治とカネ」問題からすればもっと野党の増加が欲しかった▼以前から「高齢者は投票に行くが若者は行かない」と指摘されている。したがって高齢者に有利な政策が優先させられる。いわゆる「シルバー民主主義」と呼ばれ高齢者優遇の政治により必要な改革が阻止される現象と見られている。日本では、社会保障費の増大等で財政は悪化の一途を辿り、若者の将来不安を助長していると指摘されている▼今回の選挙は高い社会保障料に苦しむ現役世代を救うと強調した論調が現れた。若者が注目するであろう「ジェンダー平等」「子育て支援」「経済・景気対策」と並べて選挙に参加させた▼若者は破綻している社会制度が続くといつか共倒れするのではないかと不安に思っている。「最近の若者は冷たい」と言われるが、本当にそうなのだろうか。日本の将来を担う若者の先行き不安を払拭するためには、雇用を安定したものに充実させ今後の社会保障制度を明確に示す必要がある▼安い労働力を追い求める経営者の意見を優先することなく、若者の将来を魅力あるものにする努力、これが政治の責任であることを政治家は自覚すべきだと思うのだが。